

# 聴衆分析による 「わかりやすい」講義の検討

国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科

下井俊典

# 背景・目的

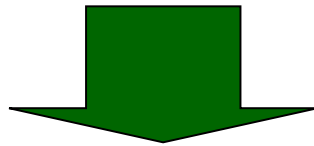
## ◎ 聴衆分析 (audience analysis)

### 聴衆の

◎ 関心、興味、要望

◎ 知識レベル

などの内容・程度を把握し、プレゼンテーションを構成・作成する戦略の一つ



聴衆(学生)は、どのような講義を「わかりやすい」、  
「わかりにくい」と判断しているのか

# 方法

## ① データ収集

- ① 対象： 講義「理学療法研究法」を受講した学部4年生70名
- ② 平成21年10月
- ③ 協同学習（グループ・ディスカッション）の課題「わかりやすい講義とわかりにくい講義」のグループ毎のコメントを収集

## ② データ解析

- ① KJ法により、各コメントを中項目にグルーピング
- ② 中項目別のコメント数を「聴衆分析マトリクス」にて解析

X-バー

→ 清田千史    → 渡辺由良    → 藤田孝太郎  
→ 渡辺由太郎    → 渡辺由太郎

○ 分かりやすかったもの

- ・ 段取りがいい (身近な事から話し始める)
- ・ 考える機会を与えてくれる
- ・ [X] や重カ画を多用したものを
- ・ 学生の反応を見ながら進めてくれる
- ・ 声が大きい
- ・ 熱い

学生の目線

- ・ プリントに自分で書き込む
- ・ 話のつたわりがある
- ・ 自分で体験するもの
- ・ 一日の流れを先に説明

○ 分かりにくかったもの

- ・ 教科書読むだけ
- ・ 声が小さい
- ・ 要点がまとまっていない
- ・ 求められていることがわからない

- ・ つたわりがない
- ・ 自己布資料ではなくスライドがよい
- ・ 言葉が難しい
- ・ 自分本位の授業
- ・ スライドの字が小さい
- ・ 雑音が多い
- ・ だらだらと長々

分かりやすかったものにおいて、分かりにくかったものにはないものは？

- ・ 熱い気持ち
- ・ どうすれば相手にならざるかを考えている
- ・ 学生の立場に立つ
- ・ 目線がなやまない
- ・ 好感度
- ・ 人間性

下(中)に「」prev. 講義 句。

27の15頁参照

1枚の紙に情報が多すぎる

文字が多い 小文字

正正正

F10事件

170 T

19

23の15頁参照

声に抑揚がある

抑揚

正正

声が小さい 不自然な声

抑揚

正正

「ア」「エ」が多い

23

語彙が豊富 下

例(不文)が少ない T

?

国・動詞あり、文字あり 下

語彙が豊富で説明あり

23の15頁参照

内容で理解しにくい確認しにくい

日本語が多い、難

専門用語多用

23

難しい内容(学生力量に合わない)、英日辞書多量

正

スラッシュ

が多用、聞き取れず理解が追いつかない

正正

一人が主(自由な表現)

正正

自分の世界に入ってくる

一般的に語り

23の15頁参照

導入(イントロ)にインパクトがある 引きつけられる

否定が入る

70%以上 下手

要点、抽象化、記号

9

たずねる様子が 下

重要な点ばかりに。要点が押していない 下

腹話集の様子 T

楽くない 中文字 T

何が言いたいかわからない、求めていることがわからない 下

purpose

目的がわからない

非常な型と講義、2人で同時授業 T

それと発表でもして 下

教科書 教科書 教科書

教科書 教科書 教科書 下

正正

資料と講義の内容が一緒

1つは説明が足りない。口答説明が長い

1つは内容が同じ内容が豊富 T

?

1語

太鼓

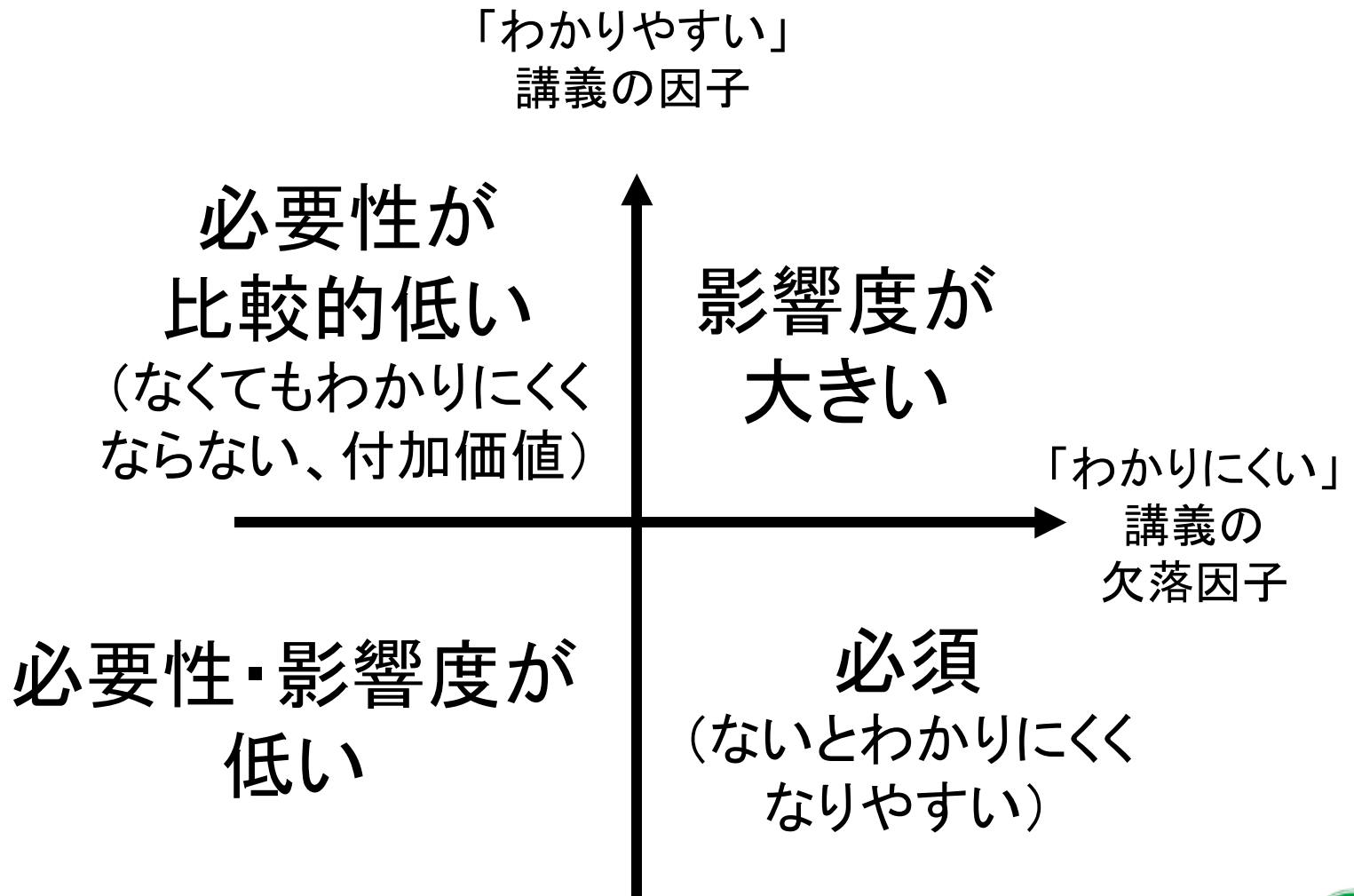
時間が長すぎる

板書が読めない

理屈の先に集まる

予備の後に朝一授業

# 聴衆分析マトリクス



# 「わかりやすい」講義

- ◎ 具体性、具体例 : 32
  - ◎ 例・たとえ・実体験・実物がある・多い・明確 : 15
  - ◎ 映像・動画を使う : 15
  
- ◎ 適切な話し方 : 15
  - ◎ 声(声量)が大きい、はっきりしている : 8
  - ◎ 抑揚がある : 3
  - ◎ 話すスピードが適度 : 2

- ◎ 見やすいスライド :12
  - ◎ 図・グラフ : 8
  - ◎ 文字の大きさ・色の配慮 : 3
  
- ◎ 参加 :12
  - ◎ 実際に体を動かす・作業する : 4
  - ◎ ディスカッション : 3
  
- ◎ 要点・ポイント :9
  - ◎ どこが重要かが明確 : 5
  - ◎ 適度な情報量、コンパクト、まとまりがある : 4





- ◎ シナリオ : 9
  - ◎ 講義の最初に目的・結果がある : 4
  - ◎ 文脈、流れ、起承転結 : 2
  - ◎ メリハリ : 2
  
- ◎ 学生の反応・レベル : 8
  - ◎ 聴衆の反応を確かめながら進行する : 6
  - ◎ 聴衆のレベルに合っている : 2
  
- ◎ 楽しさ : 6
  - ◎ 小ネタを挟む
  
- ◎ 気持ち、アツさ : 4

# 「わかりにくい」講義

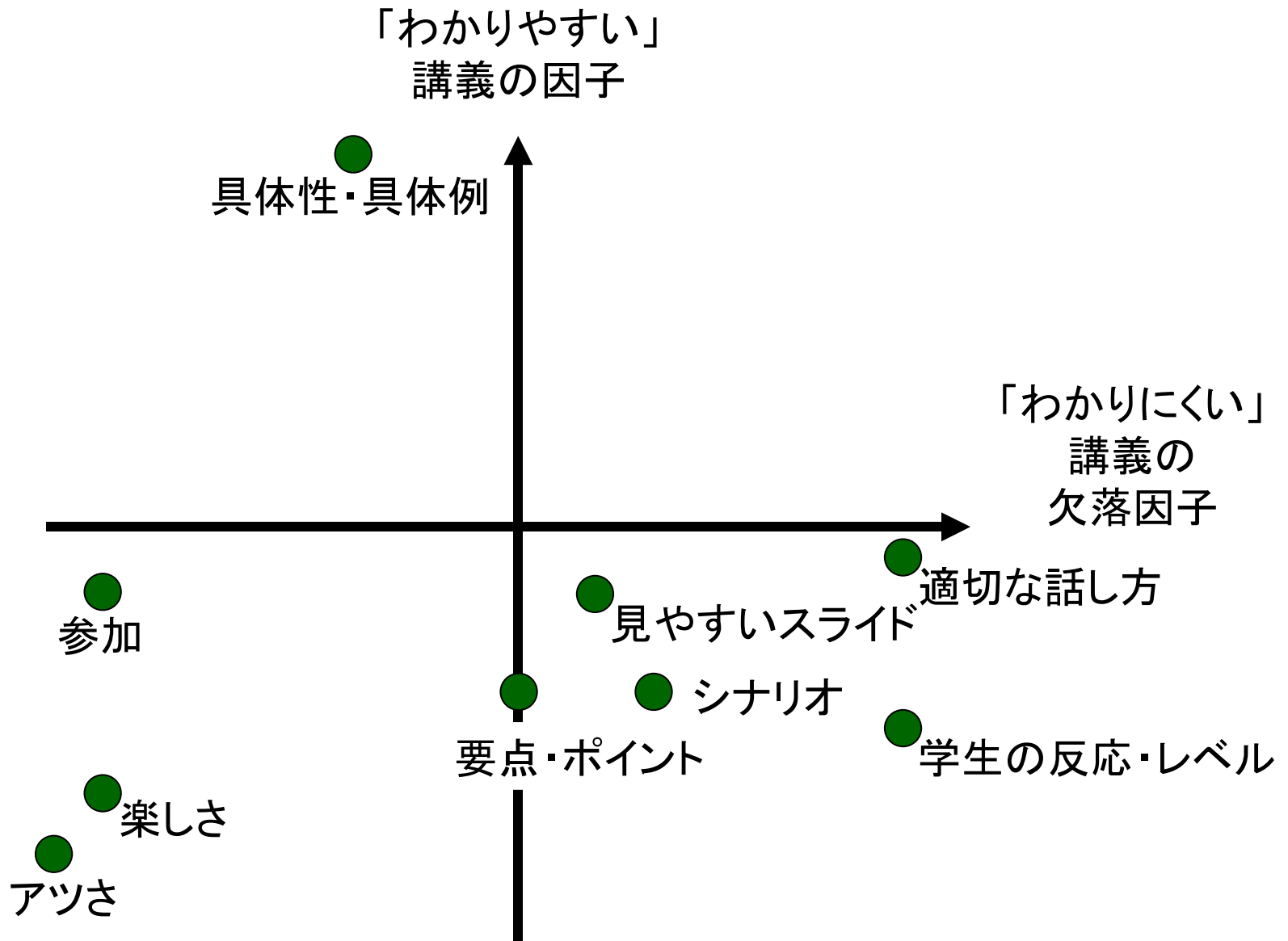
- ◎ 適切な話し方 : 23
  - ◎ 声が小さい、ボソボソしゃべる、呪文 : 11
  - ◎ 抑揚がない : 8
  - ◎ 話すスピードが速い : 3
  
- ◎ 学生の反応・レベル : 23
  - ◎ スライド・テンポが速い  
聞き手の理解が追いつかない : 9
  - ◎ 独りよがり、自分本位、一方的に話す : 7
  - ◎ 難しい内容、聴衆のレベルに合っていない  
難解な言葉、専門用語 : 5



- ④ シナリオ :16
  - ④ 教科書読むだけ、内容が教科書だけ :7
  - ④ だらだら続く :4
  - ④ 「注意」を向けさせない :3
    - ④ 導入にインパクトがない・引きつけられない  
否定から入る、ツカミが下手
  - ④ 脱線しすぎる :2
  
- ④ 見やすい(見にくい)スライド :14
  - ④ 文字が多い・小さい、1枚のスライドに情報が  
多すぎる

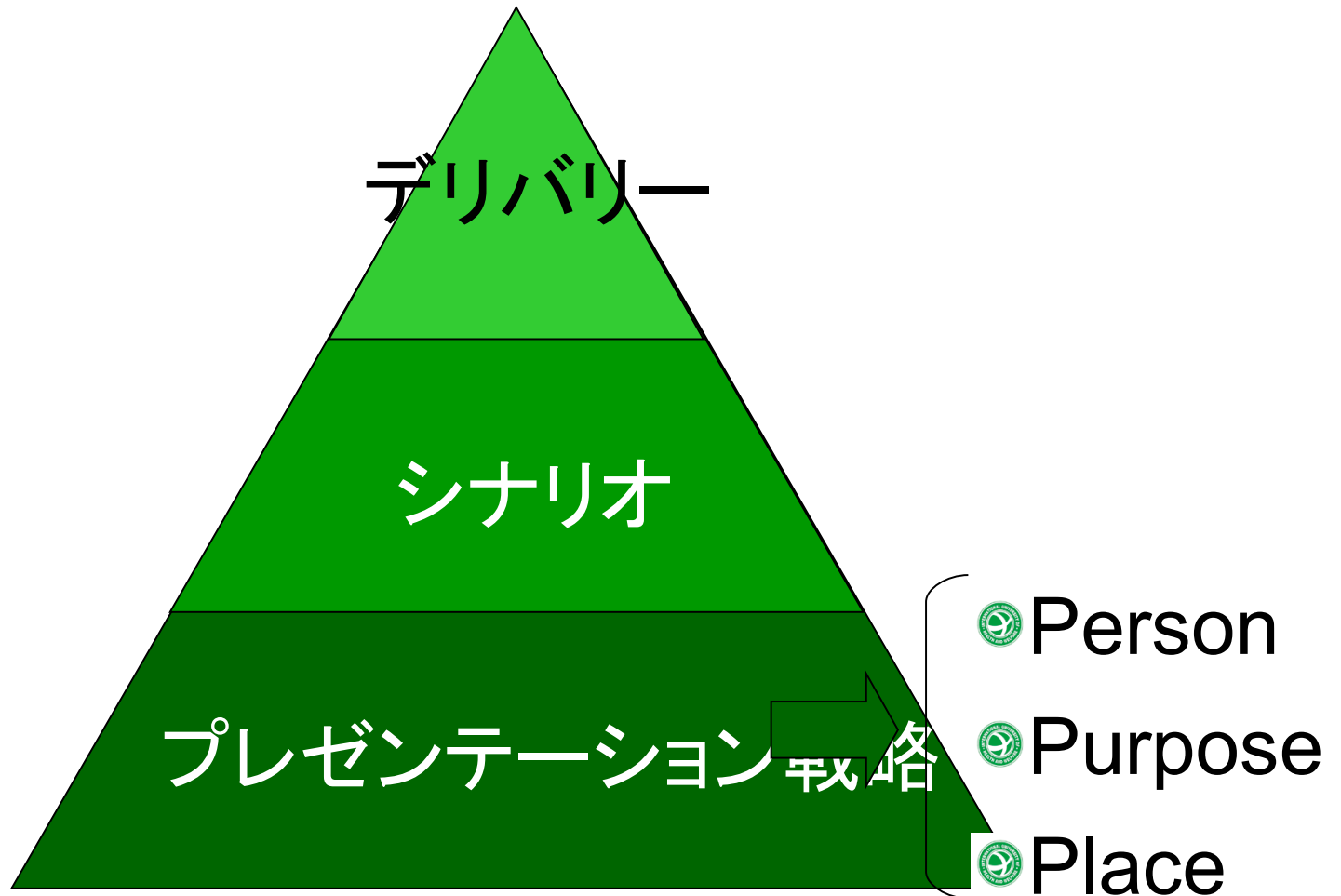
- ◎ 要点・ポイント : 12
  - ◎ 重要な点が不明確、要点がまとまっていない : 5
  - ◎ 適度な情報量、コンパクト、まとまりがある : 4
  - ◎ 何がしたいのか・求められていること・目的がわからない : 3
  
- ◎ 具体性、具体例 : 7
  - ◎ 図・動画がない、文字だけ、例・たとえばが少ない : 2
  
- ◎ 参加 : 2
  - ◎ ひたすら聴く講義
  
- ◎ 楽しくない : 2

# 聴衆分析マトリクス

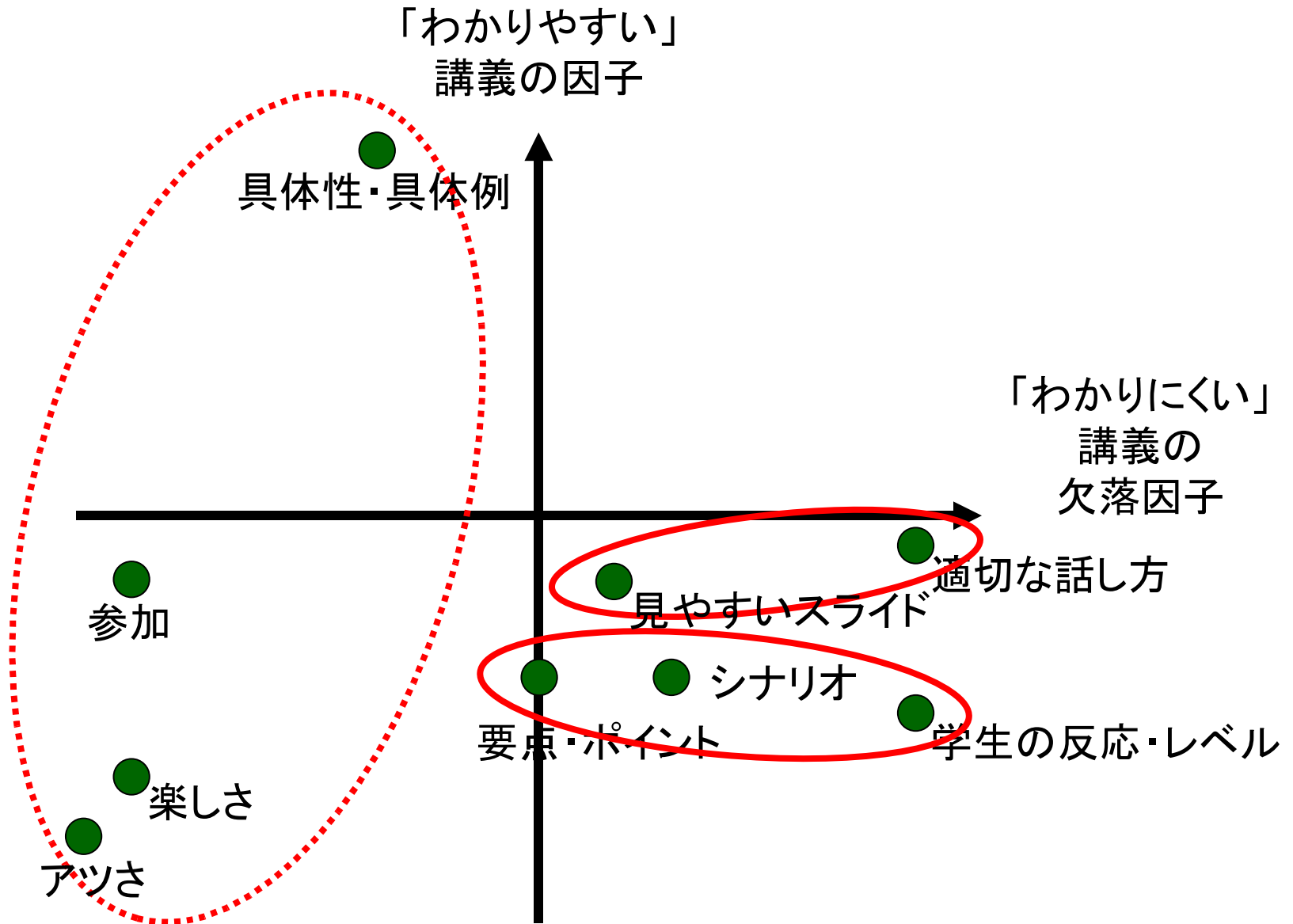


# 考察

## ◎ プレゼンテーションの構成の原則



# 聴衆分析マトリクス



# 考察

① 学生が「わかりやすい」とする講義は、プレゼンテーション構成の原則に則っている

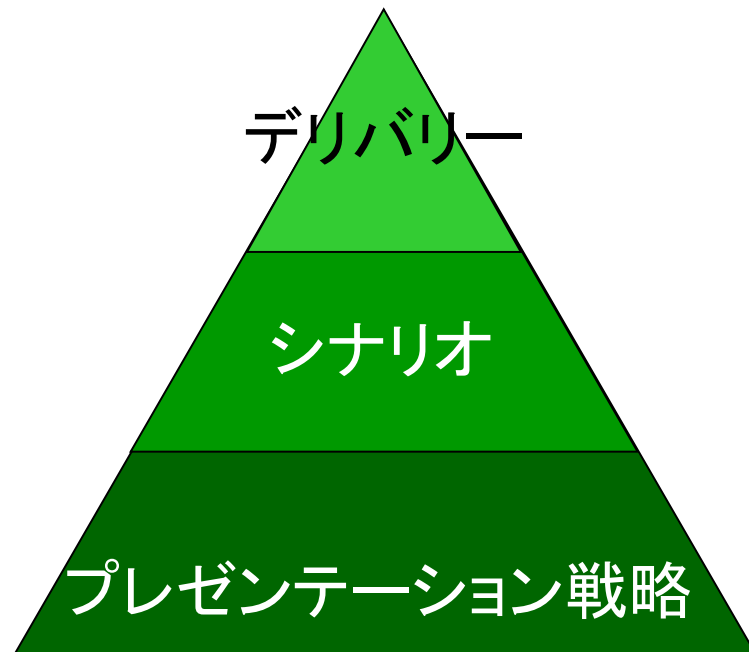
② 必須（ないとわかりにくくなりやすい）

③ プレゼンテーション戦略（聴衆分析、目的）

④ シナリオ

⑤ 影響度が大きい

⑥ デリバリー（話し方）





# 限界

- ① 対象が学部4年生
- ① 学生が「わかりやすい」「わかる」とは？
- ① 講義（プレゼンテーション）の目的と合致しているか？
  - ① 理解
  - ① 興味の賦活
  - ① 今後活用できる（役に立つ）

# 「わかりやすい講義にあって わかりにくい講義にないもの」

⇒「わかりやすかったものにおいて、わかりにくかったものになんか(エ?)」

・相手のことを考えて作ってる、発表してる

伝えたい想い・気持ちが入ってる(声の大きさ・笑い・自分の体験等etc)

学生から見ても、先生の元氣張りがわかる

完結に、ポイントがわかりやすい

わかりやすいものにおいて

わかりにくいものになんか(エ?)

- ・聞く側への配慮(思いやり)
- ・適度な説明
- ・小書熱がある
- ・伝えたいことを強調している
- ・五感を刺激する(脳がぶっ活する!!)

# プレゼンテーション戦略

## ③ 3P分析

③ People

③ Purpose

③ Place

## ③ 聴衆分析 (people)

③ 数

③ デモグラフィック分析 : 性別、年齢、職業、文化的背景

③ 知識レベル

③ 姿勢・態度

③ キーパーソン

# おまけ

## - 学生のコメントから -

### ◎「わかりにくい」講義

。呪文

。オレらに発表させといて、寝子!!

### ◎「わかりやすい」講義

小ネタを狭む (秋田の人  
みにいたよ....)